

わたしたちの地域会議(JR以南)

第1部 講演『地域でつながることの大切さ』

講師 坂根匡宣氏(一般社団法人ダイアログス)

日時：令和7年8月22日

参加者：26名

(当事者、市民、福祉サービス従事者、社協職員、精神科スタッフ、行政職員など)

- ・ 共生社会の実現が社会福祉のテーマ
多様な人たち、多様な職種、多様な世界、価値観、多様なみえかた、感じ方を知ることが大切である。
- ・ 「同情」と「共感」の違いについて
同情は相手の苦しみを「可哀そう」「気の毒」と感じる感情。「助ける側」と「助けられる側」という関係性を生み出す。
共感相手の感情や考えを「まるで自分のことのように」感じようとする。上下関係はなく対等な関係性が生まれる。
- ・ 地域共生社会の実現へ
多様性について学びお互いを尊重し合える社会をつくるために何ができるか。
一人一人が考えていくことが重要である。

第2部 体験型ワークショップ「多様な感覚を知ろう」

- ・ 視覚障がい者体験キットを使用した多様な見え方の体験
- ・ アイマスクと白杖を使用し視覚障がい者役と介助者とペアになり歩行体験

『当事者からの意見・感想』

「外出中に知らない人から突然白杖を掴まれたことがある。私にとって白杖は目の代わりの物であり、そのような行為は本当にやめてほしい。今日のワークショップで参加者の皆さんに当事者の体験をしてもらい、目が見えない感覚が少し理解していただけたかと思う。このような機会があればたくさんの人に積極的に参加してもらいたいし、もし困っている人がいれば今日のことを思い出して声をかける等の配慮をしてもらいたい。」

「コントラスト低下」体験メガネ



「視野狭窄」体験メガネ



「中心暗転」体験メガネ



地域会議をとおして見えてきたこと
【障がいについての理解不足】